

6月

ふれあいルーム便り

通所介護・地域密着型認知症対応型通所介護

医療法人社団芙蓉会 デイサービス ふれあいルーム 2022年6月15日 No.321

フルーツバイキング

6月のイベントでフルーツバイキングを行いました。感染対策を取りながらの実施となりましたが、色とりどりに飾られたフルーツの盛り合わせをワゴンに乗せて席をまわり、好きなものをスタッフが取り分けしました。フルーツサンドは初めて召し上がる方もいらして大好評、お腹いっぱいフルーツを召し上がっていただきました。スイカの器や綺麗に飾られたフルーツがワゴンで運ばれると、いつもと違った特別感があり、自分の順番が来るまでのワクワク感や選ぶ楽しさ、みなさんの笑顔でいっぱいの時間になりました。



ふれあい カイコを飼う

生活相談員 森 繭子

ふれあいルームでカイコを育てる事になりました。まずはカイコの成長について。カイコは卵から生まれます。生まれたては黒い糸くず状です。



卵から生まれた時

- 1齢（～4日目位に脱皮） → 白くなってイモ虫の形になる。
 - 2齢（3～7日目位に脱皮）
 - 3齢（8～11日目位に脱皮）
 - 4齢（12～17日目位に脱皮）
 - 5齢（15～25日目位に脱皮） → 成長の中でモリモリ一番食べる時期。
- } 成長してくわの葉を食べます。

カイコの食べるくわの葉は、くわの葉でもフワフワしているものはあまり好みません。ザラザラしていて薄くて色が濃くない物を好んで食べます。まだまだ可愛いカイコ。これからも成長を見守りながらお伝えしていきます。

ちなみに我が羽生ホーム長…カイコがとても気になるようで、暑さや、くわの葉が足りているか、鳥に食べられてしまわないか等々、お休みの日でも見に来る勢いです。



4齢の時
食欲旺盛の育ち盛り



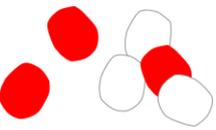
レクリエーション

お一人お一人の「個」を大切にしながら、他の方とのコミュニケーションを生み、促進するのがレクリエーションです。たくさんの方が集まると活気が出て、いつもと違う雰囲気を分かち合うことができます。そして、新しい出会いやつながりが生まれ、人とのふれあいは生きがいを創出するきっかけとなり、認知症予防にもつながるといわれています。「あっという間に時間が過ぎてしまった」「楽しくて身体の痛みも忘れてしまっていた」「また今度もあれをやりたい」と笑顔を見せてくださいます。レクリエーションには、心身の機能の向上や笑顔と生活の張りを保つ効果があるのです。

手先を使って制作



紫陽花の季節になり、ふれあいルームの壁面も紫陽花でいっぱいになりました。今回の壁面飾りは折り紙を折ってからのカットが難しく、お互い上手くできた、できないなど話をしながら教え合い完成させました。手先の運動のほか、「つくる喜び」「できる喜び」といった達成感にもつながります。



体を使ってゲーム

何気なく参加しているレクリエーションですが、そこには高齢者の体をしっかりと動かすという目的があります。

お一人お一人の身体機能に合わせたやり方で適度な運動を行うことで、老化現象の進行の改善、寝たきりの防止などの効果が期待できます。



風船バレーでは、まだ風船が来ていない方にパスするなど思いやりの優しさを感じました



玉入れはチーム対抗戦です絶対に負けないと毎回盛り上がります



ふよう病院

医療法人社団芙蓉会

ふれあいルーム

〒194-0005東京都町田市南町田3-43-1



042-788-3302



042-788-3303

FAX番号が変わりました

ご利用日の案内

月曜～土曜日、祝祭日

9:30～16:00

日曜日はお休みです